

各位

2023 年 年頭のご挨拶

2023 年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、With コロナの行動様式が定着したことで国内は社会経済活動の正常化が進みました。当社におきましても、新宿・日本橋の両本店をはじめとした各店で多くのお客さまにご来店いただいております。特に伊勢丹新宿本店は、まだ海外からのお客さまがコロナ禍前のご来店客数に戻らないにもかかわらず、22 年度上期は統合以降最高の売上高を記録しました。通期では、過去一度しか達成していない 3,000 億円超の売上を見込めるほどの回復となっております。

当社グループは、長期に目指す姿を「お客さまの暮らしを豊かにする、“特別な”百貨店を中核とした小売グループ」と定め、昨年秋から 2024 年度までの 3 ケ年で従来の百貨店モデルからの変革を図る「百貨店の再生」を目指した中期経営計画を推進中です。現在、大変多くのお客さまにご支持を頂いておりますのも、この経営計画で“マスから個へ”を合言葉に「個」のマーケティングへ徹底的にシフトすることで、店舗やデジタルを駆使したあらゆる手段でお客さまとつながり、お一人お一人のご要望にしっかりと応える戦略が想定以上の速さで成果をあげているため、と考えております。加えて、お客さまのご要望を伺っていくことで、従来の百貨店では扱っていなかった商品やサービスも当社の信用のもとにご提供する可能性も拡がりつつあります。こうして、3 ケ年計画初年度の業績は期初の計画を上回る見込みで順調に推移しております。

迎えた 2023 年は、「百貨店の再生」をさらに推し進めながら、次期 3 ケ年計画で目指す「グループ企業による連邦戦略」の展開フェーズへとスムーズに移行するための重要な年となります。百貨店の再生により多くのお客さまから頂いた信頼を、当社のグループ企業全てで応える仕組みを構築するため、グループリソースの活用による外販の強化や、グループ企業が蓄積したスキルとノウハウの組み合わせによる提供価値のワンパッケージでのご提案などによって、収益の手段や規模を高めてまいります。その先には、「三越・伊勢丹のまち化」として、より多くのお客さまに「来街・滞在・回遊・居住」頂けるための複合用途をご提供する一方で、そのインフラとなる不動産、金融決済、データシステム等の事業までも当社のグループ連邦で支える「百貨店を“核”にした魅力あるまちづくり」の基礎を作ってまいります。

また、サステナビリティの取り組みでは、環境や人権に配慮したサプライチェーンマネジメントの実践に向け、お取引先さまとの対話活動を実施したほか、「パートナーシップ構築宣言」への賛同を公表いたしました。今後も当社グループは、企業活動を通じて社会課題の解決に貢献し、豊かな未来と持続可能な社会の実現を支えるべく取り組んでまいります。

最後に、お客さま、株主の皆さまをはじめとしたステークホルダーの皆さまのご愛顧に改めて感謝し、皆さまのご健勝と、さらなる飛躍の一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

2023 年 1 月

株式会社三越伊勢丹ホールディングス

取締役 代表執行役社長 CEO

細谷 敏幸